



～民生委員・児童委員だより～

# ほのぼの

第10号

発行  
平成25年11月1日

編集／発行 日進市民生委員・児童委員協議会（日進市役所内・日進市蟹甲町池下268）

民生委員・児童委員・主任児童委員は

いつもそばにいる、あなたの相談相手です

～相談内容や秘密は守られます～



市の花 アジサイ



民生委員・児童委員  
マークの由来

幸せのめばえをしめす四つ葉のクローバーをバックに、民生委員の「み」の文字と児童委員をしめす双葉を組み合わせ、平和のシンボルの鳩をかたちどって、愛情と奉仕をあらわしています。

ほのぼのの由来

私たち民生委員・児童委員の活動が、皆様の生活をあかるく、あたたかいものにする手助けとなれるようにと名付けました。

## 部会だより ～このページは各部会の活動内容等を紹介するコーナーです～

今年度は最終回として「防災・防犯部会」「生活福祉部会」の二つの部会の紹介をいたします。



生活福祉部会

福祉部会勉強会



防災・防犯部会

尾三消防本部視察研修

● **どんな部会ですか**  
日進市には生活の一時的な困窮者救済の一環として、「しあわせ資金」の制度があり、日進市社会福祉協議会が運営しています。当部会はこの資金貸付審査に関与しています。

部員は十六名で、生活保護・福祉資金の貸付などに関する勉強会の他、就労支援機関への視察研修などの活動をしています。また、他の部会のような市民団体・グループなどの交流活動はありません。

● **取材感想**  
実際に経済的支援の必要な人の手助けをする活動は、表だったものではなく縁の下の力持ちと言つのにふさわしい活動だと思いました。

ほとんど知らずにいる福祉の手を必要とする人のさまざま事情に驚かされました。



● **活動の感想**  
今年度は東郷町にある尾三消防本部に行つて視察研修をしました。ここは日進市・東郷町・みよし市・豊明市・長久手市の消防指令センターになっており愛知県で初めてデジタル無線システムを採用し大規模災害から119番通報での消防車や救急車の出動が敏速に行われております。特に高齢者の緊急通報システムについて説明をして戴いたあと煙体験・消火器による消火訓練の指導を受けました。部会ではいろいろな体験をつんで、これから益々増える高齢者や介護が必要な方々のお役に立つよう努力して行きたいと思っています。

● **取材感想**  
今年運用開始されたばかりの高性能消防システムに参加者の関心が高く熱心に見学されていました。取材で同行した私達も煙体験・消火訓練などに参加し大変勉強になりました。

### ☆今限りで退任される民生・児童委員の皆さん長い間大変ご苦労様でした☆

#### 編集後記

今回の「ほのぼの」第10号は、3年目の更新年を向かえ、広報部員になって経験を積んだ部員全員の意見を取り入れながら発行に取組んでまいりました。

今後とも皆様に親しまれる紙面づくりに取組んでいきたいと考えております。

編集委員／天池・岡田・篠原・中島・福岡・堀場

## わたしたち民生委員・児童委員は 住みよい街づくりに 取り組んでいます

● 民生委員になって感じたこと

### 【三年間の民生委員活動を振り返って】

西地区 Aさん

この度、二期目の三年間を無事終えることができました。一期目から引き続きましたので情性にならぬよう「地域に貢献したい」という気持ちを忘れず取り組んだつもりです。

活動は「赤ちゃん訪問」から「高齢者訪問」まで多岐にわたっていますが、まず自分が親しまれることが大切と考え、常に笑顔で対応するように心掛けてました。また「定例会議」「部会の勉強会」は大変参考になり、そこで得た知識を生かして、高齢者の方々と良好な関係を築くことができました。

『ありがと』と言われると、やっていて良かったと心から嬉しく思います。

自分自身の成長にもつながりました。毎月の定例会議の信条朗読は、気持ちの張りの持続に役立ちましたし、先輩委員の方達との交流では様々な意見を伺うことが出来、視野が広がった気がします。

活動の中では悩むこともありましたが、周りの方々に支えられ何とかやって来られました。

これからも地域の方達の笑顔に会えるよう頑張っていきたいと思えます。

## 高齢者実態把握調査結果

平成二十三年度に高齢福祉課と  
民生委員・児童委員が協力し、  
実態調査を行いました

### ● 調査の目的・概要

市内の六十五歳以上のひとり暮らし高齢者及び全員が七十歳以上の方の世帯の高齢者の生活実態を把握することにより、今後の高齢者支援の基礎資料とするもの。

### ● 調査対象者（平成二十三年十月一日基準）

- ・ 六十五歳以上のひとり暮らし高齢者
- ・ 全員が七十歳以上の方の世帯

ただし、次の世帯は対象外とする

- ・ 災害時要援護登録者がいる世帯
- ・ 介護保険の認定者がいる世帯
- ・ 高齢者福祉のサービス受給者がいる世帯
- ・ 世帯分離をしているが、同住所に六十九歳以下の者がいる世帯

### ● 調査方法

市から対象者へアンケートを送付し、後日、対象者からの希望により民生委員又は市調査員が自宅へ訪問し、面接にてアンケートを回収した。

### ● 調査結果

2464人を対象に調査を実施し、2212人（男性998人、女性1214人）の回答を得ました。

### 【地域で支えあう喜び】

中地区 Bさん

「ひといよな、先に逝っちゃまって！わし飯も炊けんわ…。」奥様に先立たれ余儀なく独居となられたTさん。「ボケンよつに歩いとるよ。」玄関には散歩の途で折った草花が飾ってある。「男暮らしは味気ないから…。」と。

八十過ぎのKさん。「ホフ見て！」近づくと庭先で小雀が米粒をついばんでいる。「あの子食べるの遅いなあ…。」日々雀との会話と観察を楽しんでいる。皆さん何て気持ちが豊かなのだろう。自分の置かれた立場に愚痴を言いつつも、しっかりと前を向き明るく過ごされている。

民生委員として歩き始めて3年。それまでコンタクトの少なかった地域との繋がりを今やっと感じ、感謝している。様々な人との出会いで、多くの得がたい経験もし、私自身成長できた。

話苦手の私だが和顔愛語で相手の気持ちをくみ取り共感することで、その人の真の叫びや必要な支援が掴めるようになってきた。

乗り越えねばならない課題は多いが、地域の人と共に歩み、共に成長していきたいと願う。



日常生活について、回答者の中で、日中一人で過ごす割合は、ひとり暮らし世帯の場合約52%の方が「よくある」と答え、高齢者世帯の場合約16%の方が「よくある」と答えました。

また隣近所の交流については、挨拶程度の付き合いが一番多く、ひとり暮らしで約36%、高齢者世帯で約47%の割合でした。ひとり暮らしの場合約12%の方が付き合いなしとの回答がありました。

（表1参照）

ほとんどの人が困った時には、自分の子どもや配偶者などの相談相手がいると答えられたが、中には相談相手がいないとの回答もありました。

そのような方の中には、相談が出来ないため必要なサービスにつなげていない方もみえ調査を実施したことにより、状況を把握し地域包括支援センターなどを通じて様々なサービスの利用につながったものもありました。

また、具体的な困りごとの内容としては、整理整頓や外出手段、掃除、「ゴミ捨てなど、身近な生活上の困りごとについての回答が多くありました。

（表2参照）

これらの困りごとについて、福祉サービスや地域のボランティア活動などにより、お手伝いできることもあります。この調査において困りごとがあるものの、どうしてよいかわからない、またはどこへ相談してよいかわからないため、そのままになっている場合もありました。

（日進市高齢福祉課）

お困りごとがある場合は、  
まずは身近な下記の相談窓口へ  
ご相談いただくことが大切です



### 【民生委員・児童委員のついで】

東地区 Cさん

三年間活動させて頂いて今思うことは、小生の会社員（商事会社）勤め時代とはまったく違う世界（ボランティア）があることを知り、世の中は多くの人たちの助け合い、支え合いによって成り立っているの思いを強くし、今までの自分自身の価値観が変わる思いを強く感じております。

一年目の六月に新任民生委員研修として、市内の日青葉学園を見学研修させて頂いた折には、日本の世の中にも不幸な境遇の子ども達も多くなるのだと目の前の現実が沈み込みました。幼い子どもさんが保育士の方々に楽しそうに遊んでもらっている姿を見た時には、思わず目頭が熱くなりました。その時の想いは今でも忘れておりません。

私は「福祉とは人の為にあらず、自分自身の為であり」を忘れずに活動していきたいと思っています。そして活動の基本は、民生・児童委員手帳にある五箇条の信条であると思っています。

限りある時間、信条を胸に秘め、民生委員バッジに恥じるこの無い活動をして行きたいと願っております。

表1. 世帯別近所付き合いの程度

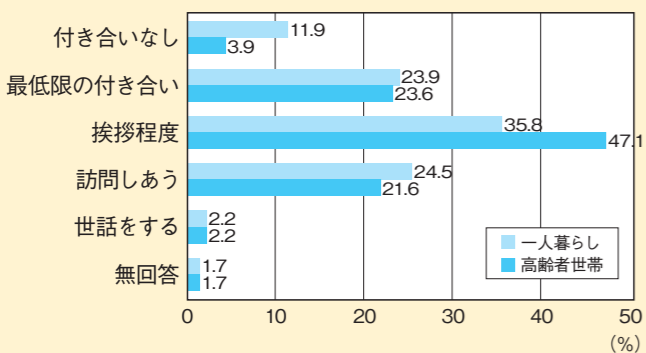
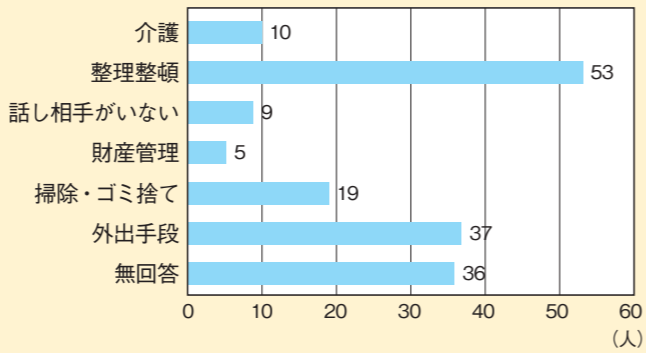


表2. 困りごとの内容（複数回答）



## 高齢者福祉サービス相談先

各地区の民生委員・児童委員

日進市役所 高齢福祉課 TEL: 0561-73-1497

中部地域包括支援センター TEL: 0561-73-4890

東部地域包括支援センター TEL: 0561-74-1300

西部地域包括支援センター TEL: 052-806-2637